

令和元年 第21回委員会会議録

1	開催年月日	令和元年10月21日（月）
2	開閉会時刻	開会：午前10時30分 閉会：午前10時50分
3	場 所	福岡市選挙管理委員室
4	出席委員	津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員
5	事務局職員	事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長，書記2名
6	傍聴者	なし
7	議 題	
	(1) 報告事項	
	①	選挙人名簿から抹消する者の数について
	②	在外選挙人名簿登録者数について
	(2) その他	
		次回以降の委員会の開催予定日時
		・令和元年11月5日（火）午前10時30分
		・令和元年11月25日（月）午前10時30分
		・令和元年12月3日（火）午後5時00分
8	議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）	
	(1) 報告事項	
		報告事項①と②について，事務局から資料の説明・報告を行った。
	(2) その他	
		次回以降の委員会の開催日時は，資料記載のとおり決定した。
		行政委員会の報酬額などのあり方について検討することを目的として，検討会議が開催されることについて説明した。
	【質疑等】	
	○	今まで行政委員会の報酬について検討する会議が開催されたことがあるのか。
	▲	今回が初めてである。
	○	職員の給料については，年に1回給与勧告がある。このような検討会議により公正な審査と判断を求めることは良いと思う。
	○	報酬についての検討期間はどのくらいか。
	▲	今年度中には一定の方向性が出るのではないかと思う。
	○	今回，検討会議において整理されることは良いと思う。
	○	今年の参議院議員通常選挙について，1票の格差に関する訴訟が16件起きている。10月16日に高松高裁が最初の判決として違憲状態であると判断

しており、投票価値の著しい不平等状態にあったとしている。

平成27年に公職選挙法が改正された際に、附則で選挙制度の抜本の見直しを検討することとされたが、実際には抜本的な改正には至っていないと思う。

年内にすべての判決が出て、最高裁が判断を示すことになると思われるが著しく不平等であることは間違いないと思う。

抜本的な改正を行わないと、同じような訴訟が毎回起きることになるのではないか。参議院選挙の選挙区については、都道府県単位に固執することなく、ブロック別や比例代表選挙制などに検討する必要があると思う。

今回の判決を受けて、抜本的な改正に早く取り組む必要があると感じる。
